

紫友

SHIYU

同志社校友会 北海道支部機関誌 再刊第 6 号 (2017年5月)



新島会館(Photo: 木佐木翠子)

同志社校友会北海道支部総会の開催を祝して

同志社大学 学長 松岡 敬



同志社校友会北海道支部総会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

校友の皆様には平素より、本学に對しましてご厚情、ご支援を賜わり誠にありがとうございます。教職員を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

本学の創立者新島襄は、「智識あり品行あり、自ら立ち自ら治るの人民、いわゆる一国の良心とも謂う可き人々」の育成を目指して、今から142年前の1875年(明治8年)に同志社英学校を設立しました。この教育理念は、新島が江戸末期から明治初期にかけて、約10年間のアメリカ生活で自ら体得した自由の精神、国際人としての感覚を通して形成されたものです。キリスト教主義精神に立脚した自治自立の人物、そして自由を尊び、良心を手腕に運用する人物の輩出が、同志社教育の目的です。

この新島の教育理念は学内に行き渡っており、建学の精神を守るとは、それがどれだけ学生、教職員そして校友に浸透しているのか、であると言えます。これは社会が私立大学を評価する重要な指標であり、私立大学の特長と呼べるところではないでしょうか。現在の私立大学を取り巻く環境を見ますと、国立、公立、私立をあわせて大学は777校あります。その大学数に對し2017年現在の18歳人口は120万人ですが、2031年には100万人を切る見込みです。各大

学は、優秀な受験生を取り合う一層厳しい競争的環境に置かれることになるでしょう。また国際バカロレアの認定を受けた高等学校の増加に伴い、海外の大学への進学を希望する受験生も増えつつあります。今後は、日本国内のみならず海外の大学との競争的環境の激化も予想されます。

このように考えますと、本学が、現在の質を担保しながら運営を行うには2つの視点が必要です。まず1つ目は、優秀な日本人学生を継続して入学させることです。これは国内の18歳人口が減少する傾向の中で、今後はますます難しい課題となります。同志社の魅力アピールしていくために、教職員はもちろん、校友も含めた本学の様々な知見を結集した、他大学にはできない教育プログラムの開発が求められるでしょう。

2つ目に、海外からの留学生について、質を保ちながら量的拡大を目指す戦略が求められます。つまり学生の人数構成において、優秀な留学生の割合をさらに増加させるといふことにも挑戦しなければなりません。優秀な留学生を迎えるためには何が必要でしょうか。教育面について、カリキュラムや授業方法などにおいて、より一層のグローバル化推進が不可欠でしょうし、学生支援に關しては、様々な人種や宗教に對応したキャンパス作りを考える必要があるでしょう。また国際戦略面からは、どの地域から重点的に留学生を獲得するのかしつかり計画を立て、それに対応した

海外拠点の再構築なども検討する必要があります。もちろん志願者受け入れには、入学試験もそれに対応した形に変えていかなければなりません。

ではこのような社会的背景を鑑み、同志社らしい教育を守りながら、さらに本学の特長を活かし、創立150周年である2025年をどのように迎えるのか。その方向性を示したものが「同志社大学ビジョン2025」であり、様々な課題を解決する6つの優先的テーマをビジョンの中で掲げています。教育(学びのかたちの新展開)、学生(キャンパスライフの質的向上)、研究(創造と共同による研究力の向上)、入学(「志」ある人物の受入れ)、グローバル化(「国際主義」の更なる深化)、ブランド戦略(ブランド戦略の展開)、を大きな方針とし、またそれぞれのテーマに對し、様々なアクションプランを持って取り組んでいく所存です。2025年に向けて教職員、学生、そして校友が一体となり「ALL DOSSISHA」の精神でより一層躍動する同志社大学を体現いたします。ぜひ皆様には本学の活動に、引き続きご注目とお力添えをいただきたく存じます。最後になりましたが、本日の総会にご列席の皆様が、この場を通じて相互の親睦をより一層深められますとともに、今後ますますご活躍されますことを心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

座談会

●出席者

はせがわまさはる
長谷川正治

(同志社校友会 理事・副会長)

きのした としお
木下 智夫

(同志社校友会 理事・熊本県支部相談役)

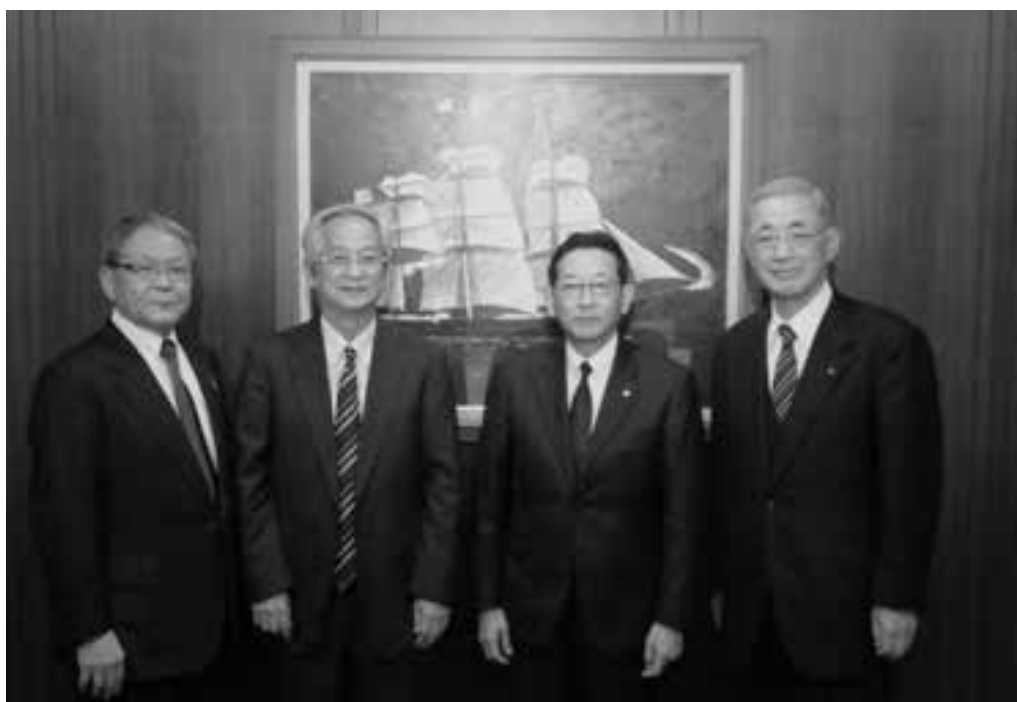
やまかわ ひろゆき
山川 寛之

(同志社校友会 理事・北海道支部直前支部長)

●司会

くさの よりふみ
草野 賀文

(同志社校友会 評議員・北海道支部長)



(2017年2月14日 新島会館にて)

草野 ●本日はお忙しい中、ありがとうございます。ございます。

『紫友』の紙面作りの為に、今回理事の方にお集まり頂きました。近年校友会活動が活発化しています。校友会活動を中心に紙面作りをしたいと思い、今回このような席を準備させて頂きました。

皆さん昭和四十四年卒業ということですが？

木下 ●たまたまねー

草野 ●たまたまですか。そうすると学生時代は交友関係はなかった？

長谷川 ●全然。顔も、ね…

木下 ●そうそうそう。

山川 ●不純交遊はないですから。(笑)

木下 ●そうそう、そうだよ。理事四十五人の内、一割が昭和四十四年卒？

山川 ●彼も、彼も、という感じですね。

草野 ●長谷川さんは在学中サークル活動とかは？

長谷川 ●サッカーです。今は学業とスポーツの両立やけど、当時は択一やっただ。体育会のサッカー部を選んだら、勉強は全くしなかった。学校の授業行かんならんから言うて「練習休ませて下さい」なんて言ったら、「お前何考えてんねん」て…

山川 ●そういう世界ですよ。

長谷川 ●そう、そういう世界。工学部やったら五年契約、六年契約になる。四年で卒業するんだったら「入ってくんな」と。工学部同期が、サッカー部

入って五年はかかるやろ言うたけど四年で出て、名古屋の東証一部上場企業の社長をして今会長やってる。東海のユニオンは彼が副会長やっています。その彼の足を引つ張りに試験前に麻雀しに行つたけど。それを飛び越えて：やっぱ力があつた。

木下●て言いながら、自分かてちゃんと公認会計士になつた！

山川●大したもんだね。俺ら勉強したはずなのにそんな資格取つてないよね。

木下●いや、俺してないもん。

長谷川●一番最初に明德館に行つたやない？登録袋を持って、サッカー部部長の伊藤史朗先生（計量経済学の）を訪ねた。「長谷川くん決めたか？早う飯食つて練習行けよ」と。「一般教養は何とかしたるから、間違うてもわしのゼミは絶対取んな」と。そんな人來たらかなわんと。



木下●先生の方から？

長谷川●最初に宣告された！

山川●俺に迷惑掛けるなと？

長谷川●ほんで見たら、登録袋つて担当の先生書いてあるんだけど、違う先生になつた。集められたのね。サッカー部全員がちゃんとそこへ行つてん。そんなんで、今出川は四年で十日くらいしか行つてない。

木下●サッカー部、ユニオンなのよ。

草野●そうですか！

長谷川●ユニオンで、今サッカー部OB会長やけど、もともとそういうスタンスで：

山川●それだと会うわけないよな！

長谷川●何で？つて言うたら、やつぱり内部進学やから。同志社中学から高大やから、大学の試験も情報はいっぱい貰えるわけ。仲間から。

草野●確かにそうですよね。

長谷川●そこが一番違うところかな。

草野●サッカーの話で思い出しました。長谷川さんハリルホジッチに似てますよね。

長谷川●ずっと言われています。毛がもうちよつと伸びてた頃、いつも長谷川ホジッチと言われていました。この

ネクタイもそうです。もらったんやけどね。

草野●うちの事務局長もボート部でした。「瀬田の唐橋から京都に近づいたことがない」つて言う先輩がいたと。体育会はその様ですね。

長谷川●それがね、体育会じゃなくてもヤフー（社長）の宮坂さんもそうや。資生堂（社長）の魚谷さんもそうや。卒業してそこそこの立場にいる人、話くるやないですか。皆そんな話をする。そしたらね、同志社は色々な変化があつて、自由に自分の好きなことができる時間があつた。だから学校の勉強やなくて、自分でやりたいことをしたという人が圧倒的に多いですね。

木下●あーそうかもしれないね。

長谷川●学校の授業でどうこうでなくつて、これが同志社教育の全て。

木下●サッカーでないけど、いかに蹴られないか、いかに突き上げられないかは学んだよ。機動隊に蹴られない、それとその警棒ね。本場にデモに行く度に五百円位いるんだよ。下から警棒で突き上げられ、ヘルメットを破られたり。上から叩かれるのはそこそこ防御出来るけど突き上げられると、止め紐が喉先を絞めつけ苦しいんだ!!だから、出来るだけ歩道側にいる。次回デモでヘルメット買わずに済むように（笑）

長谷川●あそこの中に居たの？

山川●ノンポリでないんだね。

木下●一人だけ明德館のあの広い21番

教室の段上に背広着ている者がいるわけよ。多分、全共闘のリーダーだった藤本敏夫（加藤登紀子の夫）だったと思う。当時は「カッコエー」思つたよ!!

長谷川●学校が閉鎖されたもんだから、僕らはバリケード破りに行かされた。「お前ら交渉に行け」と。僕らの同期の若林らがよど号事件を起こした。

木下●大学の同級生が若林、高校の同級生が岡本。その弟がテルアビブ：。（後は紙面には書けません：武田）

草野●山川さんは真面目だったようですね。

山川●そうだよ。ずっと真面目だった。政治活動には一切関わらなかつた。話についていけない。

長谷川●往時、学生運動やるのは、地方から出て来てお金がなくて時間がある、という学生を一本釣。で活動家にすると話聞いた。

木下●ところがね、なんでこんな裕福な家庭の子が：という人もいた。学館の部屋確保の為の活動やスカルノ政権の崩壊、ベ平連の勃興：等色々あつた。



長谷川●木下さんは学生時代しつかり

と活動してたんだね。
木下●自分たちの留り場を確保する為にですよ。

草野●時間が無くなりますので前に進めます。皆さんにお聞きします。同志社大学の良心教育というものに対してはどういうお考えをお持ちですか？



長谷川●良心教育って表現が難しい。同志社大学に育てられるうちに知らず知らずに色々な判断行動の元になっている、そんなものじゃないだろうか。

山川●現実的には入学式と卒業式の写真の良心碑くらいのもんでね。在学中にそんな意識持ってたか？って話ですよ。まず持つてない。大学出てからですよ。

長谷川●僕は十年同志社だけで居るときは何もわからなくて…。

草野●三十年はかかりますよね。

木下●三十年じゃないよ。僕は五十年



かかった。実はうちの高校(熊本高校)も知徳体、士君子教育ってのがあって正に同志社と同じ。今回ね北海道支部から命題を受け、勉強した。五十年かかった。(笑)

長谷川●ある意味良心教育って同志社だけじゃない。ハートの問題。

山川●ものすごく大きなカテゴリーなんだよね。

木下●だけど「良心教育」でググると同志社にたどり着く。

山川●ブランドとしては大したものだ。

木下●今回草野さんのお陰で大変勉強させられた。(笑)

長谷川●NHK大河ドラマ「八重の桜」で皆が喚起され、色々な情報を知ることが出来た。東で「官」を育てるなら新島は西で「民」を育てる、という新島の一念が突き抜けていた。普段の一般生活の中に「良心」がひつついてくる、といった感じ。きちつとした形で「良心教育とは」となったのはここ二、三年の話。大谷総長が音頭をと

り、キリスト教主義がその礎になった。
山川●校風としては自由闊達、好きにやれと。自分の学生生活は自分で造るっていうのがあったから、結構ぶれないというのが形成されていったのではないかな。

木下●何故同志社に来たか？っていうと親が卒業生だったから。それも戦前の高等商業ね。それでゲタ履かせてもらったんじゃない？(笑)



草野●木下さんは同志社第一志望？

木下●そうです。

山川●僕は国立大と併願したんだけど、早めに同志社受かったもんだからそのまま入学へと…：地方試験があったものだから。浪人する気まったくなかつた。

草野●長谷川校友会副会長がいらつしゃいますので、校友会活動のモチベートをどう上げるか？ひいては良い学生をどう集めるか？同志社プレゼンスを確立し学校の知名度をどう上げていくか？についての方向性を伺いたいと思います。

長谷川●校友会活動は井上会長の下でやりだした。学んで良かったと思う大学になれるよう、学校は頑張つて欲しい。校友会も入つて良かったと思えるものにした。学生が将来社会人になる過程でどう貢献できるか？学生が同志社に魅力を感じるのには在学中よりも

卒業してから…。それらは卒業生が今まで作り上げてきたからこそ。…人材を育てる上で教育ってそんなもんじゃないか、と。この間も学校の方々と話しました。卒業式で「これが我々のスタートや」これから社会人として生きていくのに校友会活動を皆んなに知つて頂く。これからは勝負や。あくまで校友会は学校の応援団、ばらばらでは困る。学校が出来ないことを校友会がやる。そういうスタンス。

草野●具体的には？

長谷川●規約等全面改訂する中で学生が一番のよりどころとなる校友会をどう作るか？卒業した後の社会人活動をどれだけ支援できるか？ここが一番。国内はもちろん国外においても、どこにでも校友会がある。そんな体制作りをし、何でも聞ける基盤を作りたい。それでやりだしたのが各支部の基盤の強化。四つの支援制度を考えたい。経費の応援、支部会員の活性化、地域貢献、地域で同志社をどうアピールするか。これが将来の生徒募集に繋がっていく。三田会(慶応OB会)とかは連合三田会から上意下達だが同志社は四十七都道府県の自主性に負つていく。

木下●その第一段が全支部のホームページ作り。

山川●とにかく事前に各大学の校友会活動を本当に熱心に調べてくれた。規定のあり方、作り方、中身、そして底辺活動まで…。それがベースになつて



の為。その一念。

木下 ● 東日本大震災から生まれたテレビドラマ「八重の桜」。我々同志社にとつては良かった。私は熊本なんだけど、熊本バンドを知らん地元卒業生も沢山いるんですよ。それが「あーもつと関わらなければならぬ」と、一人二人と増えていった。嬉しいことです。

いる。それが卒業生の為にどうやって役に立つのかに結びついてる。その為に大変な努力をして頂いた。

長谷川 ● その過程でやっぱりすごいと思つたのはダイキンさん。他校を調べるとコネクションとか整理する能力、これが揃っている。そんな風に基礎が固まると新たなアイデアが出る。その循環が生まれた。

木下 ● 井上会長は真剣に向かい合つて頂いている。

長谷川 ● 支部の確立と連携は自分が想定したものより早かった。何年もかかると思っていたものが、すごく短時間で出来た。元々各支部が自主自立で築き上げていたものがあつたから、そこを補強したり統合したりして一挙に出

来た。

木下 ● ベースになる支援をしてもらえた。その中でホームページの統合がなされた。

長谷川 ● 最初は本当に手探り状態。大懇親会など常にジャッジして短時間に進めていった。それが結果として上手くいったから良かったけど、一歩間違つたら…。何でそんなことを出来たつて言つたら、やはり将来の同志社

農業改革のノウハウなんかも。

山川 ● 雇われ外国人なの？

木下 ● 英語の教師として。元々は藩校。これからは！ということでは組んだのは横井小楠なんです。ほら、薩長に遅れをとつたじゃない。

草野 ● 建物は明治維新以降ですよ。ジェーンズ邸は。

木下 ● 明治四年に建立、同志社英学校が明治八年。彼ら（熊本バンド）はどちらかという追われて来た。ジェーンズが耶穌教を教えた…。ジェーンズもおとがめ、学校が廃校になる。子供達は家族の厳しい監視下に。そんな中ジェーンズの紹介で同志社に向かう。彼らが同志社創生に多大な貢献をしていることを知らない人が多い。自分もテレビ局勤務の番組作りで知つた。それで「ジェーンズの会」に入れて頂いた。辞典作りなども行なつて

るんですよ。その後自分なりに調べたら、十年先に出来たグラバー邸が国宝、片やジェーンズ邸は県指定の文化財。ほぼ同じような木造洋風住宅なのに…。この震災についても扱いが低い。そこら辺がくやしい。

一同 ● (笑)

木下 ● 学校が廃校になった後は迎賓館になつたんですよ。その後、西南の役の時には官軍の司令長官、有栖川宮がここにいて、参謀本部の宿舎だった。その後、日本赤十字の発生の地と言われるようになった。今回の募金でも名前が入っている。

山川 ● 今回Tシャツ作りやお金集め等さすがですよ。

草野 ● 北海道支部も二十枚協力させてもらいました。(笑)

長谷川 ● 学校もね、校友・父母課の田中さんはじめ大変なご労力を頂いた。ここが大事。

木下 ● 先程の話じゃないけど、学校との連携の土台が出来つつある。

長谷川 ● さらに躍進させる為に校友父母課を格上げしてほしい。学長直轄にならないか？これからも学校との信頼関係が一番大事。名簿の一元管理もそんな中から出て来た。五年かかって。

草野 ● 復興Tシャツなんかも大懇親会で二百万、三百万と集められる、そんな集まりになつてくれれば。

山川 ● 大変だという時こそ校友会の実力発揮の場です。

草野 ● 是非そうありたいですね。

一同 ● (同意)



同志社ゆかりの地の 建造物等に対する支援金 【熊本地震 同志社ゆかりの地 募金】

同志社校友会では熊本の復興に対して少しでもお役に立てればと、寄付を募る活動を行っております。皆さまから寄せられた善意は、熊本の復興に役立てられるように活用したいと思います。

卒業生をはじめ、熊本、九州を愛する皆様からの善意をお待ち申し上げます。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

■支援対象

ジェーンズ邸、徳富記念園

■募金目標

1,500万円

■募金期間

2017年3月末日

募金活動終了後、募金額は「熊本市文化財保存修復基金」へ一括納金いたします。



※6月まで延長

■振込窓口

銀行	ゆうちょ銀行		肥後銀行 本店営業部	熊本銀行 本店営業部
	口座間振替	他行から振込		
支店名		〇九九店		
預金種別		当座	普通	普通
口座番号	00990-6-63891	0063891	2535299	3129192
口座名義・名称	同志社校友会		熊本地震同志社ゆかりの地基金 代表 木下智夫 (キノシタトシオ)	

※誠に恐れ入りますが、振込手数料が発生する場合はご負担をお願いいたします。

※振込みいただいた寄付金は、個人の場合は「特定寄付金」、法人の場合は「国等に対する寄付金」として取り扱われ、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。

※今回の振り込みご支援に対しまして、礼状を発送いたしません、ご容赦いただきますようお願いいたします。

熊本地震から1年 同志社校友会の皆様

「ジェーンズ邸」復旧に更なるご支援を

校友会熊本県 支部長 木下 智夫

早いもので、熊本地震の発生から、この4月で丸1年になります。この間、皆さまからは物心両面にわたる丁寧なご支援を賜り、心から御礼を申し上げます。

古の木造西洋建築物でしたが2度にわたる「震度7」には耐えられませんでした。

さて今回の地震で、同志社ゆかりの施設が被災。中でも熊本バンドの若者を育てた米人牧師の住居・ジェーンズ邸が全壊しました。熊本に現存する最

いま校友会熊本支部では大学や校友会本部のご協力を頂きながら復旧に向けた募金活動をしています。Tシャツの販売収益金やHPへのバ

□善意続々と□



その後のジェーンズ邸の状況を熊本支部のHPより

□苦戦を予想□
現地に置かれたま

ナー広告提供料などを含め、これまでに約700万円の善意が寄せられています。また、さる2月19日の熊本市民マラソン大会には、大学からグリークラブの皆さんが応援に駆けつけてくれました。当日のコンサートも盛況で被災地激励に大きな役割を果たしてくれたのは言うまでもありません。

まの建物の部材や文書・資料を保管する施設が決まり専門家による調査も始まりました。熊本の関連予算も初年度分は確保できましたが、すべてはこれからです。2019年度の復旧工事完了までには、約6億円の復旧費用の調達を始め、なお多くの課題があります。とりわけ資金面では熊本城の復旧に耳目が集まっていることもかなりの「苦戦」が予想されます。

□国・重文の指定も□
そこで県支部では募金の締め切りを当初の3月末から半年間延長することにしました。地元では今回の復旧を契機に国指定の重要文化財を目指す機運も高まっています。
8年後の新生ジェーンズ邸に思いを馳せながら、あらためて校友の皆さまのご協力ご支援をお願いいたします。

熊本地震「同志社ゆかりの地」復興募金

3月15日現在募金総額 六、七六四、〇〇〇四円

寄付者芳名

熊本地震「同志社ゆかりの地」復興募金に御賛同頂きましてありがとうございます。紙面をかりてお礼申し上げます。
(12月20日～3月15日)

- 校友会本部 (郵便振替・現金)
- 群馬県支部様
- 大下 道様
- 同志社女子高等学校様
- 岐阜県支部様
- 校友会熊本支部(熊本銀行本店窓口)
- 同窓会 渡辺潤子様

- 熊本日々新聞 渡辺直樹様
- 熊本日々新聞 中村美弥子様
- 片山和隆様
- 自見一器様
- 同志社女子大学 コザキマコト様
- (錦市場) レッグ・ヤスタ様
- 同志社グリークラブ様(コンサート募金箱)
- オオノ サチオ様
- 校友会熊本支部(肥後銀行本店窓口)
- 香川県支部様
- 新島学園短期大学様
- 木下智夫様
- 佐賀県支部様
- 同窓会佐賀県支部様
- 同窓会(佐賀) 嘉村美津子様
- 鍋島徳子様
- 永井 暁様

2017年度年間活動予定&報告

1月	13日	新年会 第三モッキリセンター 2000円/一人 参加者5名
2月	19日	スキー部練習会 テイネハイランド 参加者2名 久しぶりのスキーに体が悲鳴
3月	17日	弥生例会 お刺身居酒屋『瑠玖』狸小路6丁目角 会費4000円 女性2名含む12名参加
5月	20日	北海道支部総会懇親会&皐月例会 『プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌』 会費5000円
6月	14日	函館碑前祭 参加費無料 家族同伴可! 乗用車に分乗
	17日	同志社フェアin仙台
7月	7日	釧路OB会総会
	8日	第14回同立戦ゴルフコンペ
	16日	“DOSHISHA Camp in Hokkaido”
	17日	アウトドアコミティーが企画するキャンプです 今年羊蹄山山麓で行います
	21日	文月例会
8月	8日	第18回 関西六大学札幌OBゴルフ対抗戦(千歳空港CC) 昨年は120名参加 樹徳会主催ビール会 オホーツククラブ総会&懇親会&ラグビー応援
9月	8日	マンドリンクラブ札幌公演&月見例会 『教育文化会館』 (9月を旧暦表記すると長月です ホテルの立て看板に「同志社長月例会」と記載したところ 同志・社長月例会と読めてしまうので改名を指示されました)
	23日	三好杯争奪ゴルフコンペ 故三好支部長に敬意を表し秋にゴルフコンペを開催しております
11月	11日	関西六大学札幌OB懇親交流会 交流会は本年度の関西六大学対抗戦優勝校が幹事をします
	12日	同志社ホームカミングデー・大懇会(京都)
	18日	樹徳会北海道支部 定時総会 『すみれホテル』
	22日	十勝クラブ小樽クラブ総会&霜月例会
12月	9日	クリスマス会 『プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌』 第2土曜日にクリスマス会を開催しています 会員家族約120名出席の大パーティーです 瘦ツチョのサンタや太ったトナカイが狭い会場を走り回り子供達にプレゼントを配ります

<http://hokkaido.doshisha-alumni.org>

行事予定の詳細はホームページに最新情報を掲載しております、確認をお願いします。



京都御所の北隣に位置する同志社大学。残念ながら北海道における知名度は低い。実は校祖・新島襄は「Boys be ambitious!」で知られるクラーク博士に学んでいる。

明治維新前の1864年、函館から渡米し、マサチューセッツ州のアマースト大学に通った時のことだ。新島にとってクラーク博士は大学の先輩であり恩師で、クラーク博士も北海道を去った後、京都の新島を訪ね

われら同志窓

同志社校友会

プレミアホテル-TSUBA
KI-札幌「美麗華」にて(3月30日)

ている。

そんな新島は「人一人は大切なり」という言葉を残している。思想や経済的素養とは関係なく、「人一人」と「良心」を大切にすることで「良心」を送り出している。同志社校友

会」北海道支部は現在、札幌、小樽、苫小牧、室蘭、函館、オホーツク、旭川、帯広、釧路の9クラブで計600人を擁する。大人数ではないが、結束は堅いと自負している。

図らずも、札幌南高校のOBが多い。当支部の活動推進の原動力となっていた。だいたい。すすきの観光協会会長の篠田政一、セリオむすめや社長の三澤聖一、山忠高島建設社長の高島栄一、北海道コカ・コーラボトリング常勤監査役の前田則彦、札幌フロンティア法律事務所代表弁護士の後藤雄則の各氏が南高出身だ。また札幌東高OBで札幌第一興産顧問・山川寛之氏(前支部長)とリプロデュース社長・松本聡氏の貢献も人後に落ちない。もちろん、札幌北高OBの加藤明史氏や札幌西高のOBも負



前列左から石川學、日野隆、前田則彦、吉川美佐子、草野賀文、加藤明史、篠田政一、真木陽子、毛利勝彦の各氏。後列左から松本聡、武田泰一、堀江浩明、高島栄一、中ノ目孝道、山川寛之、三澤聖一、後藤雄則、清水尚之、宮澤靖、南波剛、奥田元樹の各氏。本記事をご覧の校友は <http://hokkaido.doshisha-alumni.org> をご参照ください

けていない。
 小樽から駆けつけたのは北海道物産展で大人気の甘納豆製造老舗、中ノ目製菓社長の中ノ目孝道氏。帯広からは6次産業化で忙しいガロード相談役で静岡県出身の堀江浩明氏。
 函館からは奈良県から函館市に着任したばかりの住友生命保険函館営業部長・南波剛氏。
 地元の札幌からは丸真真木呉服店社長の真木陽子、アフラック代理店代表の毛利勝彦、合同容器会長の日野隆、伊藤製缶工業社長の宮澤靖（幹事長）、イワタニ産業北海道支社長の清水尚之、前事務局長の石川學、副支部長の吉川美佐子、マーケティングエンジニア営業部長の奥田元樹の各氏。
 江別からは太陽石油社長の草野賀文氏（支部長）、のっぽろ印刷社長の武田泰一は事務局長を務めている。

（武田 記）



新島旧邸 (Photo : 木佐木翠子)